

令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

資料1	令和4年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業総括	P. 1
資料2-1	令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書(案)	P. 7
資料2-2	令和4年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳(案)	P. 8
資料2-3	監査報告書(写)	P. 11
資料3	令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業計画(案)	P. 13
資料4-1	令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算(案)	P. 15
資料4-2	令和5年度共同事業契約における役割分担等について(案)	P. 17
資料5-1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について(案)	P. 21
資料5-2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(令和5年4月1日現在)(案)	P. 22
資料6	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領(改訂案)	P. 23
資料7	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿	P. 24
参考資料1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領 ※議題2、6参考資料	P. 25
参考資料2	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 ※議題4参考資料	P. 26
参考資料3	共同事業契約書 ※議題4参考資料	P. 30
参考資料4	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(令和4年4月1日現在) ※議題5参考資料	P. 37
参考資料5	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会要項 ※議題7参考資料	P. 38

令和4年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 総会

1. SPOD事業の概要

四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD/SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に、平成20年10月に設立

- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・平成30年に設立10周年を迎え、現在14年目
- ・四国地区の高等教育機関35校が加盟
- ・FD・SDにおける地域間大学連携のモデル事業



2. SPODの将来構想

(令和4年度～9年度)

※令和3年度総会にて決定

【全体方針】

1. FD・SDの地域ネットワークのリーダーとしてのプレゼンスを維持する
 - ・プログラムの見直し及び新規開発に取り組むことで、FD・SDを一層発展させる
 - ・活動の内容と成果を広く発信していく
2. SPODフォーラムを国内最高のFD・SDの機会にする
 - ・優れたFD・SDプログラムをフォーラムで提供する
 - ・ポスターセッションによって発信や交流の場を提供する
3. 対面研修では対面の特徴を活かした学習や交流の機会を提供する
 - ・対面ならではの参加型の学習を取り入れる
 - ・参加者間のネットワークづくりを促進する
4. 希望する時間と場所ですべて学習できるオンデマンド研修の機会を増加する
 - ・ニーズに合ったオンデマンドの教材を開発し提供する
 - ・オンデマンドの教材を活用してハイブリッド型の研修を増加する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
 - ・会議等の遠隔開催、書面開催を積極的に行う
 - ・刊行物は書類を減らし、ウェブサイトなどの情報提供を充実させる
 - ・事業予算の柔軟な運用などによって安定的な財政基盤を維持する

SPODの将来構想

【FDの方針】

1. SPOD-FDマップ作成

- ・SPODにおけるFDプログラム（講師派遣プログラムを含む）のFDマップを作成し、プログラムの共有化、共同開発に活用する
- ・期間途中に更新すること、プログラムの整理や新規開発の指針として活用する

2. オンラインによるFDプログラムの共同開発

- ・大学を超えた新たな取組として、SPODコア校のFD担当者が共同でオンラインによるFDプログラムを開発、実施し、SPOD加盟校に提供する

3. 大学院生を対象としたプレFD開発

- ・大学院設置基準の改正に伴う取組として、共同でプログラムを開発し、共有する
- ・大学院生のニーズを把握し、プログラム開発に活かす

4. 分野別FDプログラム開発・FD担当者養成

- ・加盟校の文脈や専門分野に即した具体的に実効的なプログラムとするため、SPOD加盟校における分野別FDプログラムをコア校以外の加盟校の担当者も含めて共同で開発する

- ・学部や小規模大学においてFDを推進する担当者の育成、支援を行う

5. TA・SAを活用した教育の質向上

- ・TA・SAを適切に活用し、授業の可能性を広げ、学生の学習効果を高めるためのFDプログラム開発及びTA・SAの育成を行う

SPODの将来構想

【SDの方針】

1. オンラインによるSDプログラムの共同開発
 - ・オンデマンド動画コンテンツを開発する
 - ・既存のSDプログラムの一部または全部のオンライン化を検討および導入する
2. SDプログラムの体系再構築
 - ・SPOD加盟校のニーズ調査に基づく新規プログラムを開発する
 - ・既存のSDプログラムの内容の点検・評価および再構築を行う
3. SDプログラム修了者のフォローアップ体制の充実
 - ・次世代リーダー養成ゼミナール修了生やSPOD-SDC取得者への研修や勉強会を実施する
4. 加盟校間のSDコミュニティ構築
 - ・日常的な意見交換、定期的な勉強会（経営学や心理学など業務に活用可能な知識習得）の場を構築する
5. SDの内製化の推進と支援
 - ・研修設計と評価に関するSDを充実させる
 - ・SDの年間計画に関するコンサルティングを実施する

5

3. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

(令和4年4月1日現在)

会長	仁科 弘重	愛媛大学長
副会長	河村 保彦	徳島大学長
副会長	寛 善行	香川大学長
副会長	櫻井 克年	高知大学長
監事	磯部 雅彦	高知工科大学長
監事	箕島 弘二	阿南工業高等学校長
企画・実施統括者	中井 俊樹	
	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 教授	

6

SPOD加盟校

【愛媛】13校

(大学⑦)
愛媛大学(国)、愛媛県立医療技術大学(公)
聖カトリナ大学(私)、松山大学(私)、松山東雲女子大学(私)
岡山理科大学獣医学部(私)、
人間環境大学松山看護学部・総合心理学部(私)
(短期大学⑥)
今治明德短期大学(私)、松山東雲短期大学(私)
松山短期大学(私)、聖カトリナ大学短期大学部(私)
(高等専門学校②)
新居浜工業高等専門学校(国)、弓削商船高等専門学校(国)

【香川】7校

(大学③)
香川大学(国)、香川県立保健医療大学(公)
高松大学(私)
※徳島文理大学香川キャンパス
(短期大学③)
香川短期大学(私)、高松短期大学(私)
せとうち観光専門職短期大学(私)
(高等専門学校①)
香川高等専門学校(国)

35校（四国地区の高等教育機関）が加盟

大学19※、短期大学11、高等専門学校5（令和4年4月現在）

※四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。この場合、学部等単位での加盟となる。

【高知】7校

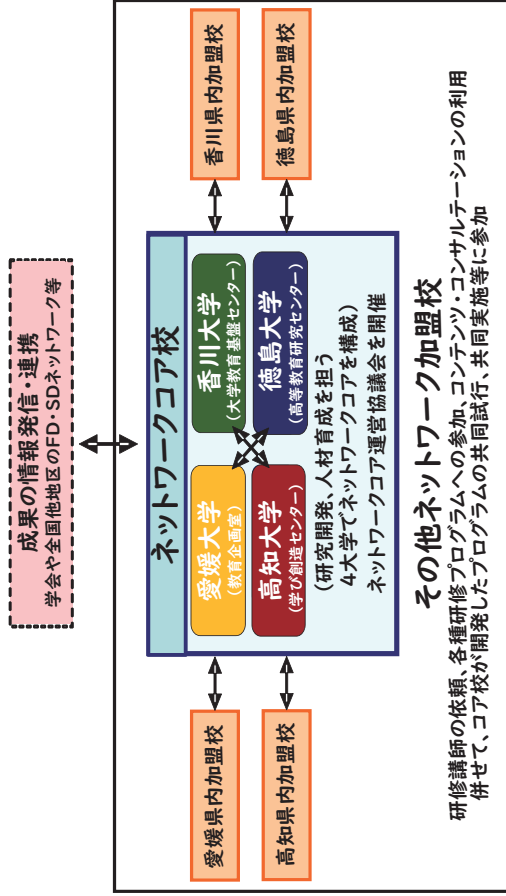
(大学⑤)
高知大学(国)、高知県立大学(公)
高知工科大学(公)、高知学園大学(私)
高知リハビリテーション専門職大学(私)
(短期大学①)
高知学園短期大学(私)
(高等専門学校①)
高知工業高等専門学校(国)

【徳島】8校

(大学④)
徳島大学(国)、鳴門教育大学(国)
四国大学(私)、徳島文理大学(私)
(短期大学③)
四国大学短期大学部(私)、徳島工業短期大学(私)
徳島文理大学短期大学部(私)
(高等専門学校①)
阿南工業高等専門学校(国)

7

ネットワーク運営体制

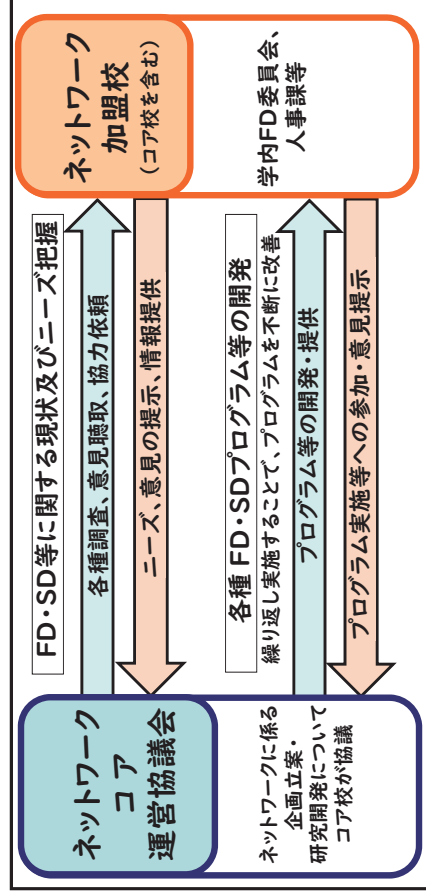


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

8

【連携内容】

① ネットワークコア、加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、オンライン会議等を活用した
情報交換等

9

33

4. 令和4年度事業の総括

1. SPOD共通事業

- ① SPODフォーラムの実施
- ② SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ③ 情報提供・広報活動

2. FD事業

- ④ FD担当者研修の実施
- ⑤ 新任教員研修の開発・実施
- ⑥ 教育業績記録（ティーチャング・ポートフォリオ：TP）の実施
- ⑦ FDに関する調査研究

3. SD事業

- ⑧ SD担当者研修の実施
- ⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- ⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ⑪ SDに関する調査研究

4. SPOD運営

- ⑫ ネットワークコア運営協議会

10

① SPODフォーラムの実施

共通事業

- ・スキルアップにつながる実践的プログラムを3日間で集中的に提供
- ・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD／SDプログラム及び組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供

「SPODフォーラム2022」

- 【日時】 令和4年8月24日（水）～26日（金）
- 【方法】 全面オンライン
- 【テーマ】 「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」
- 【申込者】 **581名（延べ1492名）**
- 【プログラム数】 37プログラム
- 【事後全体アンケート】 ※フォーラム終了3週間後にWEB実施
- ・回答者の98.7%が「満足」と回答
- ・所属組織を越えた人脈作りについては、満足度が低い（43.8%）
（オンラインフォーラムの課題であり、引き続き対策を検討していく）

■ SPODフォーラム2023

- 【日時】 令和5年8月23日（水）～25日（金）
- 【会場】 愛媛大学城北キャンパス（対面開催）
- 【テーマ】 「未来を切り拓く力を育成する」

11

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

共通事業

- ・SPODに加盟するメリットとして、50以上のプログラムの中から各加盟校が希望するプログラムについて、研修講師を1人あたり年1回無料で派遣

■ 令和4年度SPOD内講師派遣プログラムの実績

【派遣機関：26機関、受講者数：1162名】

- ・各加盟校におけるFD・SD活動等の方針に沿った活用ができるよう、実施プログラム決定にあたって事前調査を実施
- ・複数回開講（2回目以降の経費は加盟校負担）を希望する加盟校も増加
→ 学内研修の企画・立案に活用（5校が複数回開講）
- ・各校からのアンケート結果や時代のニーズに即したプログラムを提供

【令和5年度】

- ・プログラム希望調査を実施中（2月28日締切）、現在調整中
- ・全60プログラムを提供（新規：13プログラム）

12

③ 情報提供・広報活動

(1) SPODホームページ

- ・イベント情報のページにて、SPODが主催するFD／SDプログラムの最新情報を発信。
- ・SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告、会議の議事概要等を掲載し、加盟校内の情報共有を図る。



(2) 令和4年度活動報告書

- ・加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果、各加盟校のFD／SD活動等を掲載。
- ・SPODホームページで公開。
(今年度から冊子体での配布をとりやめ)



(3) SPODメールマガジン

- ・SPODに関する各種情報を発信。登録者約300名（全加盟校SPOD事務担当者を含む）に対して配信。

13

共通事業

④ FD担当者研修の開発・実施

「FD担当者のためのFD企画講座」

- 目的：FDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能を習得できるよう、各校のFD担当者の養成を支援
- 日時：令和4年8月24日（水）
- 方法：オンライン（SPODフォーラム2022のプログラムとして実施）

- ・参加機関数：17機関（うち加盟校外11機関）
- ・参加者数：18名（うち加盟校外11名）
- ※次年度もSPODフォーラムのプログラムとして実施予定



- 受講者からの声
- ・FDの企画や留意点について、具体的に理解することができた。
- ・自身の構想していたFD企画をアウトプットできる機会になってよかった。
- ・他大学のFD担当者と情報を共有し、それぞれの取組を知ることができた。

14

⑤ 新任教員研修の実施

新任教員研修

- 目的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける。
- 特徴：どのコア校が主催する研修を受講しても同様の効果を得られるよう、
コア校間でプログラムを標準化
- 実績：各コア校主催で計4回開催、加盟校8校（延べ）から**52名**が参加
→ 事後アンケートでは、参加者の**96.9%**から「満足」の回答を得る。

⑥ 教育業績記録（ティーチング・ポートフォリオ：TP）の実施

「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」

- 目的：ティーチング・ポートフォリオ（TP）を作成することにより、教育力向上を目指す。
- 実績：徳島大学及び愛媛大学で開催し、加盟校4校から20名が参加

- 徳島大学では、5年ぶりの開催。メンターが1名であったことから、受講者2名の先着順にしたところ、学外から2名の参加があった。
- 愛媛大学では今年度より対面での開催に加えて、**フレキシブル方式**での開催を開始。オリエンテーションをオンライン（非同期型）で視聴するなど、受講期間を約1ヶ月とすることで、各受講者は柔軟なスケジュールでの受講が可能となった。

15

⑦ FDに関する調査研究

SPOD-FD将来構想及び調査研究プロジェクト（令和4年度）

- 5つのテーマごとのチームで、全18回のミーティングを行い、**具体的な調査・開発・研究等を進めた。**

1. SPOD-FDマップ作成

- ・2022年度版SPOD-FDマップの完成→他テーマへの活用へ
- ・第18回大学教育カンファレンスin徳島にて成果発表

2. オンラインによるFDプログラムの共同開発

- ・オンデマンド教材に対象を絞り、各コア校で作成している既存コンテンツの整理に着手

3. 大学院生を対象としたプレFD開発

- ・先進事例調査（京都大学、大阪大学）
- ・東京工業大学「2022年度教育改革シンポジウム～未来社会の柱となる博士学生の育成を目指して～」参加

4. 分野別FDプログラム開発・FD担当者養成

- ・FD担当者研修の実施

5. TA・SAを活用した教育の質向上

- ・先進事例調査（文献調査、京都大学、大阪大学など）
- ・SPOD内における取組の調査について検討を開始

16

⑦ FDに関する調査研究

FD事業

SPOD-FDマップの開発

(第18回大学教育カンファレンス発表ポスターより抜粋)

- 3回のミーティングを経て、2022年度版SPOD-FDマップを作成し、分類した内容に関する検証を行う。
→ 現行のFDプログラムはミクロⅠ・Ⅱに偏っている傾向が確認された。



17

⑧ SD担当者研修の開発・実施

SD事業

「職員のための講師養成講座

- 日常業務の遂行に活かすことも見据えて -

目的：SDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能を習得できるよう、各校におけるSD担当者の養成を支援

日時：令和4年8月24日（水）

方法：オンライン（SPODフォーラム2022のプログラムとして実施）

- ・参加機関数：14機関（うち加盟校外9機関）
- ・参加者数：115名（うち加盟校外10名）

● 受講者からの声

- ・研修設計は講師が何を話したいかではなく、学習者が何を身につけるかが重要ということに、ハッと気づきを得た。
- ・相手にわかりやすく伝えるためのポイントを改めて知ることができた。

SPOD-SDC

SDコーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールの修了生等で、資格認定基準を満たし、審査に合格した者に、SPOD-SDC資格が認定される。認定後は、所属大学等のSD推進やSPODフォーラムなどの研修講師として活躍している。現在38名。

18

⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施 SD事業

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施 SD事業

「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（新任職員・レベルⅠ～Ⅲ）」

目的：高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得

実績：年4回開催（新任職員研修（5月開催）のみオンライン（Zoom）実施）

加盟校46校（延べ）から206名が参加 → 満足度98.8%

※SPOD-SDC資格取得者や次世代リーダー養成ゼミナール修了生が講師を務める。

■ 新任職員研修（5月開催） オンライン（Zoom）開催

- ・例年、四国4県の持ち回りで実施
- ・今年度は徳島大学主催で114名が受講

● 受講者からの声

- ・オンライン開催ではあったが、グループワークの時間が多くあり、自身のことを考え発言する場があることで、より積極的に研修に取り組むことができて良かった。

■ レベルⅡ（6月開催） 3年ぶりの対面開催

- ・係長、主任相当級の職員30名が受講
- ・定員30名に対し62名の参加申込みあり。 → 令和5年度は2回開催（6月・11月）

● 受講者からの声

- ・久しぶりの対面での研修だった。中堅職員として必要な心掛けや部下との接し方等を丁寧に教えて頂き、とても勉強になった。

19

目的：将来、トップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成

受講者：5名

特徴：① 2年間で8回実施（令和4年度は対面開催、一部オンデマンド）

② 「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成

③ 受講生による発表や討論を行う時間を十分に設定

※受講者には、毎回課題が提示される。

→ 各自が企画・実施したプロジェクトに関する最終プレゼン及びプロジェクト実践レポートの提出並びに口頭試問を経て修了となる。

※高等教育の第一人者を講師に招く → 加盟校内教職員にも開放

↓ 今年度は新規募集を停止し、プログラムの大幅な見直しを行った。

令和5年度からの「新」次世代リーダー養成ゼミナール

・2年間プログラム → 1年間プログラム（5回実施）

・動画教材によるオンデマンド学習も活用

・時代の変化に即した、新しいリーダーの養成を目指す

20

⑪ SDに関する調査研究

SD事業

(1) 「次世代を切り拓く大学職員の育成に関する検討会」の開催

目的: SPOD-SDにおける課題の抽出、SPOD-SDが目指す人材像、今後の検討の方向性や進め方などについて、

SPODの将来構想検討を踏まえて検討し、SPOD-SD

専門部会へ提案する。

※提案内容について、引き続き、検討を行う予定

実施: 令和4年12月

(SPOD-SDC取得者及び次世代リーダー養成ゼミナール修了生)

(2) 大学コンソーシアム京都への訪問調査

目的: SPOD将来構想に基づく調査研究の一環として、大学
間連携組織である大学コンソーシアム京都におけるSD
事業について訪問調査を行う。

実施: 令和4年12月 (SD専門部会長及び各校SD担当者)

21

⑫ ネットワークコア運営協議会

運営

ネットワークコア運営協議会

コア校のFD・SD担当者等が事業の実施、運営上の諸課題等について教職協働で協議。必要に応じてFD・SD専門部会も開催。

■ ネットワークコア運営協議会 (遠隔5回・対面1回・書面1回)

■ FD専門部会: 6回開催 (遠隔5回・対面1回)

■ SD専門部会: 6回開催 (遠隔5回・対面1回)

※第4回を高知大学で対面開催 (ハイブリッド開催)

その他会議等

■ 総会: 書面開催

■ 会計監査: 3月8日 (水) 高知工科大学、3月9日 (木) 阿南工業
高等専門学校にて対面開催

■ 事業評価委員会: 3月1日 (水) 愛媛大学で対面開催

■ FD・SD分科会: 2月21日 (火) オンライン開催

22

令和4年度事業の総括 (成果と課題)

本年度の成果

- ・ 段階的に対面での研修や会議を取り入れることができ、コロナ禍で課題になっていた教職員の交流を促進することができた。
- ・ 個々の授業改善だけでなくカリキュラムや評価体制などの組織的な改善につながる研修を提供することができた。
- ・ FD部会およびSD部会で今後のFDやSDの進め方を検討することができた。
- ・ 会議の遠隔開催を活用したり、紙での刊行物などを減らしたりすることで、コロナ禍以前よりも効率的な運営ができるようになった。

今後の課題

- ・ 加盟校の教職員のニーズに合った研修を提供していく。
- ・ 対面研修では対面の特徴を活かした学習や交流の機会を提供する。
- ・ 対面研修を録画することで、オンデマンド研修の機会を増加する。
- ・ オンデマンド教材を活用してハイブリッド型の研修を提供する。

23

令和5年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業計画（案）

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム2023
令和5年8月23日（水）～8月25日（金）（3日間） 開催場所：愛媛大学
「全体テーマ：未来を切り拓く力を育成する」
トップリーダーセミナーを併せて開催
- ・ 第19回大学教育カンファレンス in 徳島
令和5年12月26日（火） 開催場所：徳島大学 ※対面と遠隔の併用を予定
- ・ SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。
ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。
- ・ FD・SDに関する調査研究
- ・ 情報提供サービス
 - ①研修プログラムガイド2023の発行（年1回、ホームページ掲載）
 - ②令和5年度SPOD活動報告書の発行（年1回、ホームページ掲載）
 - ③SPODホームページの管理・更新
 - ④SPODメールマガジンの発行
- ・ その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

2. FD事業

- ・ FD担当者研修 開催場所：愛媛大学
SPODフォーラム2023において開催
- ・ 新任教員研修の実施・公開 開催場所：各コア校
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの公開・実施
開催場所：愛媛大学、徳島大学
- ・ 各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2023に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年5回）
 - 開催場所：香川県内、愛媛大学
 - 新任職員 1回 対面予定（香川県内）
 - レベルⅠ 1回 対面予定（愛媛大学）
 - レベルⅡ 2回 対面予定（愛媛大学）
 - レベルⅢ 1回 対面予定（愛媛大学）
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学、愛媛大学
- ・職務別能力開発研修、SD担当者研修
 - SPODフォーラム2023等において開催
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年5回）
 - ※うち1回は「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅡ）」をもって充てる
 - 開催場所：愛媛県、徳島県、香川県、高知県（予定）
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2023に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（年6回程度）
 - ※うち1回は香川大学での対面開催を予定
- ③事業評価委員会（書面開催）（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回）
 - ・SD分科会（年1回）
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第5条、第7条、第8条及び第12条に基づき、役員等の任期満了に伴う以下1～5の改選を行う。（次期任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日）

なお、コア校は、規約別表第2のとおり、徳島大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学を指す。

1. 代表校／事務局（規約第7条及び第12条関係）

愛媛大学

2. 会長（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）

愛媛大学長

3. 副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項及び第7項関係）

徳島大学長、香川大学長及び高知大学長

4. 監事（規約第8条第1項、第4項、第5項及び第8項関係）

香川短期大学長及び新居浜工業高等専門学校長

5. 企画・実施統括者（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室教員

【参考】四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（コア校）

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

（代表校）

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任 期 : 令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

(令和5年4月1日現在)

会 長 仁 科 弘 重 愛媛大学長

副 会 長 河 村 保 彦 徳島大学長

副 会 長 笥 善 行 香川大学長

副 会 長 櫻 井 克 年 高知大学長

監 事 加 野 芳 正 香川短期大学長

監 事 鈴 木 康 司 新居浜工業高等専門学校長

企画・実施統括者 中 井 俊 樹 愛媛大学教育・学生支援機構 教授

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領(改訂案)

令和5年3月 日
ネットワーク総会決定

1. 監査実施者

監事(2名)

2. 実施日程

原則として毎事業年度3月中

3. 監査対応者

企画・実施統括者、SPOD事務局

4. 監査方法

対面または Web 会議システムにより実施する。

5. 主な監査事項

(1) 事業実施状況

(観点)

- ・事業計画どおりに事業が進捗しているか。
- ・代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

(2) 当該年度予算執行実施状況

(観点)

- ・適切に経費が支出されているか。
- ・事業計画と支出の整合性がとれているか。
- ・経費削減可能な支出はないか。

(3) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況

6. 資料等

(1) 事前提出資料

- ・当該年度の事業計画及び予算計画
- ・当該年度の事業経費の収入支出がわかるもの(様式任意)
- ・当該年度の活動報告書

(2) 準備資料

- ・事前資料に基づき、監事が提出を求める資料
- ※その他、監査の過程で必要と認められる資料

7. 監査に関する事務

SPOD事務局が行う。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会委員名簿

任 期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

杉森 公一 北陸大学 高等教育推進センター長

高野 修 広島経済大学 総務部長

(継続)

伊勢戸 康 大学コンソーシアム京都 事務局長

(継続)

(計3名 敬称略)

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員（R3.4.1～R5.3.31）

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

高野 修 広島経済大学 総務部長

伊勢戸 康 大学コンソーシアム京都 事務局長

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会要項（抄）

（組織及び運営）

第3条 評価委員会は、大学等におけるFD／SD活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はSPOD加盟校以外の機関に所属する者とする。

2 前項の委員は、ネットワークコア運営協議会（以下、「運営協議会」という。）の議を経て、会長が委嘱する。